

# スーパーマーケット景気動向調査

2019年11月調査結果（10月実績）  
（2019年11月21日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

## 【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」  
スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」  
スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

---

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

## 【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

---

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会  
一般社団法人 日本スーパーマーケット協会  
オール日本スーパーマーケット協会

# 11月調査（10月実績）結果概況

## 景気判断 現状判断DIは悪化も見通しは横ばい推移

10月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI現状判断は、前月から-3.2の39.1、見通し判断は前月から+0.5の37.6となり、現状判断は悪化しものの、見通し判断は横ばいで推移した。

経営動向調査では、売上高DI、収益DI共に前月に比べマイナス幅を拡大し二桁マイナス水準まで低下した。気温が高く推移したことで秋冬物商戦が伸び悩んだ一方で、台風の影響による買いだめ需要もみられた。消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動が非食品カテゴリーを中心に発生、酒類など一般食品の一部でもみられた。

カテゴリー動向調査では、駆け込み需要の反動があった非食品DIが-16.8や一般食品DIが大幅なマイナスとなった。また青果相場が安値で推移した青果DIやサンマの記録的不漁の影響を受けた水産DIも低迷した。(カテゴリー動向については最終ページに詳細を掲載)

景況感調査現状判断は悪化をみせたが、見通し判断は横ばいで推移となっている。(長期傾向についてはp11参照)

キャッシュレス・ポイント還元制度などの負担軽減策に加え、台風接近に伴う買いだめ需要が加わり、消費税率引き上げによるスーパーマーケットへの影響が見えにくい状況となっている。国内消費は低迷が続くと予想されるなか、軽減税率制度の消費者への周知や内食の喚起などによるスーパーマーケット独自の食品への購買意欲活性化策が重要となるだろう。

### 景況感調査

#### 現状判断

<b>景気判断DI</b> 当月： <b>39.1</b> (-3.2) 前月：42.3	<b>消費者購買意欲DI</b> 当月： <b>39.2</b> (-6.0) 前月：45.2	<b>周辺地域 競合状況DI</b> 当月： <b>39.2</b> (-0.6) 前月：39.8	<b>店舗周辺地域 景気判断DI</b> 当月： <b>40.9</b> (-2.1) 前月：43.0
--	---	---	---

#### 見通し判断

<b>景気判断DI</b> 当月： <b>37.6</b> (+0.5) 前月：37.1	<b>消費者購買意欲DI</b> 当月： <b>38.2</b> (0.0) 前月：38.2	<b>周辺地域 競合状況DI</b> 当月： <b>39.0</b> (+2.2) 前月：36.8	<b>店舗周辺地域 景気判断DI</b> 当月： <b>40.5</b> (-0.5) 前月：41.0
--	--	---	---

### 経営動向調査 経営状況

<b>売上高DI</b> 当月： <b>-15.9</b> (-9.0) 前月：-6.9	<b>客単価DI</b> 当月： <b>-1.6</b> (+2.7) 前月：-4.3	<b>来客数DI</b> 当月： <b>-14.9</b> (-7.8) 前月：-7.1	
<b>収益DI</b> 当月： <b>-13.1</b> (-5.0) 前月：-8.1	<b>販売価格DI</b> 当月： <b>-1.7</b> (-4.6) 前月：2.9	<b>生鮮品仕入原価DI</b> 当月： <b>0.8</b> (+0.3) 前月：0.5	<b>食品仕入原価DI</b> 当月： <b>3.5</b> (-1.6) 前月：5.1

### カテゴリー動向

<b>青果DI</b> 当月： <b>-19.2</b> (-5.1) 前月：-14.1	<b>水産DI</b> 当月： <b>-8.1</b> (-0.6) 前月：-7.5	<b>畜産DI</b> 当月： <b>-5.7</b> (+9.0) 前月：-14.7	
<b>惣菜DI</b> 当月： <b>-3.5</b> (-7.7) 前月：4.2	<b>日配DI</b> 当月： <b>-7.8</b> (+0.2) 前月：-8.0	<b>一般食品DI</b> 当月： <b>-8.4</b> (-10.4) 前月：2.0	<b>非食品DI</b> 当月： <b>-16.8</b> (-28.0) 前月：12.8

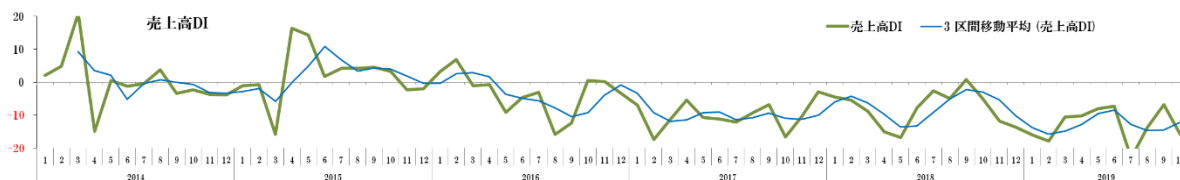
※DI値は前年同月との比較 / ()内は前月DIからの変化

## 結果詳細 I. 経営動向調査 (2014年1月～)

### 1. 売上高DI

再び下落し、二桁マイナスを記録

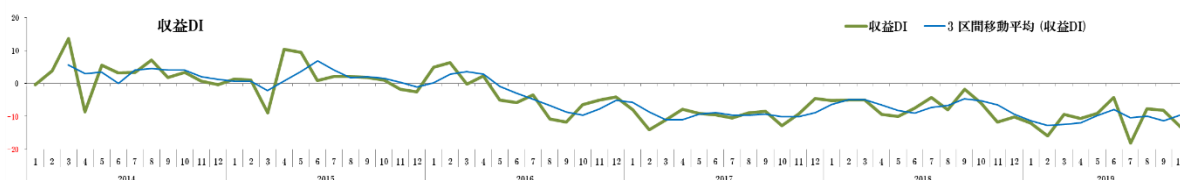
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高 (前月)	14.1	34.1	23.5	21.8	6.5	-6.9
売上高 (当月)	<b>21.9</b>	<b>37.5</b>	<b>25.6</b>	<b>12.5</b>	<b>2.5</b>	<b>-15.9</b>



### 2. 収益DI

やや下落し、二桁マイナスを記録

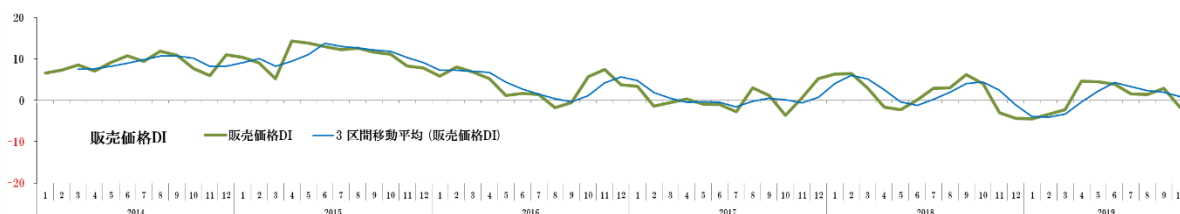
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益 (前月)	15.1	30.7	31.3	17.5	5.4	-8.1
収益 (当月)	<b>15.2</b>	<b>39.9</b>	<b>29.7</b>	<b>12.7</b>	<b>2.5</b>	<b>-13.1</b>



### 3. 販売価格DI

わずかなマイナスに転換

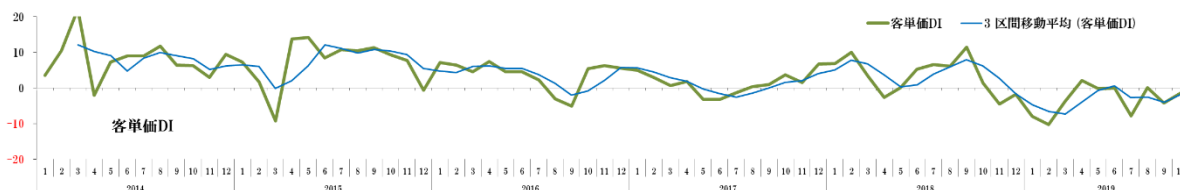
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	0.0	13.5	61.2	25.3	0.0	2.9
販売価格 (当月)	<b>1.9</b>	<b>23.1</b>	<b>55.6</b>	<b>18.8</b>	<b>0.6</b>	<b>-1.7</b>



### 4. 客単価DI

マイナス幅を縮小も

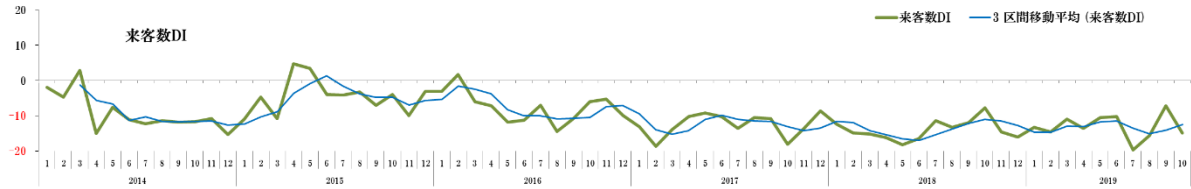
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	3.0	30.8	46.7	19.5	0.0	-4.3
客単価 (当月)	<b>1.9</b>	<b>29.8</b>	<b>41.6</b>	<b>26.1</b>	<b>0.6</b>	<b>-1.6</b>



## 5. 来客数 DI

マイナス幅を拡大し、二桁水準での低迷が続く

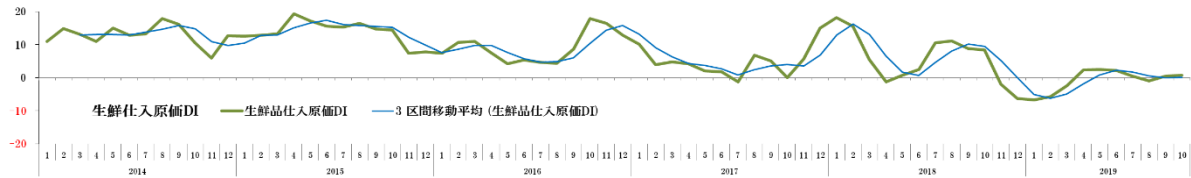
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	11.3	34.5	29.8	20.2	4.2	-7.1
<b>来客数 (当月)</b>	<b>16.1</b>	<b>41.6</b>	<b>29.8</b>	<b>10.6</b>	<b>1.9</b>	<b>-14.9</b>



## 6. 生鮮仕入原価 DI

小幅ながらプラス圏を維持

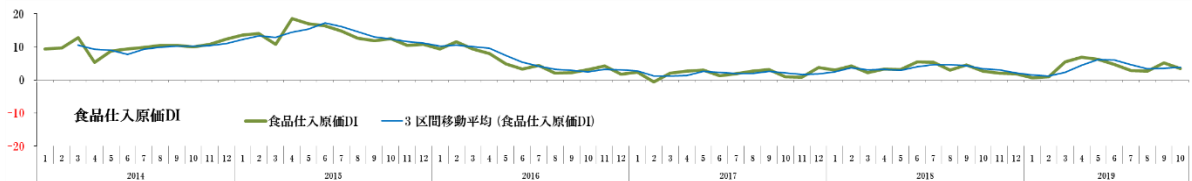
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	4.8	16.9	51.2	25.9	1.2	0.5
<b>生鮮仕入原価 (当月)</b>	<b>2.6</b>	<b>15.4</b>	<b>59.6</b>	<b>21.2</b>	<b>1.3</b>	<b>0.8</b>



## 7. 食品仕入原価 DI

プラス圏で底堅い推移が続く

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	3.0	7.8	59.0	25.9	4.2	5.1
<b>食品仕入原価 (当月)</b>	<b>3.8</b>	<b>9.6</b>	<b>59.0</b>	<b>23.7</b>	<b>3.8</b>	<b>3.5</b>

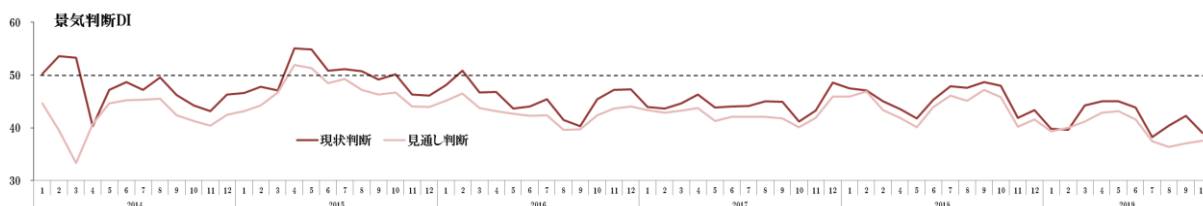


## II. 景況感調査 (2014年4月～/周辺地域景況判断 2010年4月～)

### 1. 中核店舗景況判断 DI

現状判断は大幅な悪化、見通しは横ばい推移

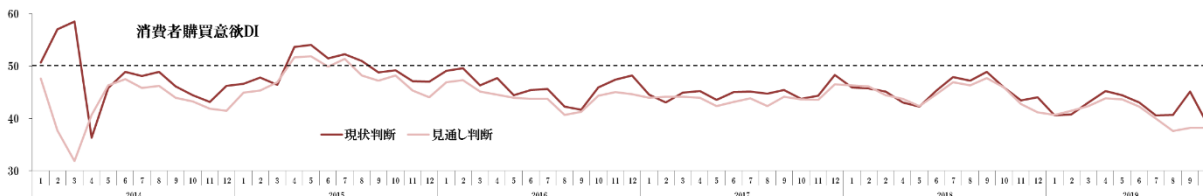
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景況判断 (前月)	5.8	31.6	51.5	9.9	1.2	42.3
<b>【現状】景況判断 (当月)</b>	<b>5.1</b>	<b>38.6</b>	<b>51.9</b>	<b>3.8</b>	<b>0.6</b>	<b>39.1</b>
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景況判断 (前月)	8.2	42.9	41.2	7.6	0.0	37.1
<b>【見通し】景況判断 (当月)</b>	<b>5.0</b>	<b>42.8</b>	<b>49.1</b>	<b>3.1</b>	<b>0.0</b>	<b>37.6</b>



### 2. 消費者購買意欲 DI

現状判断は大幅な悪化、見通しは横ばい推移

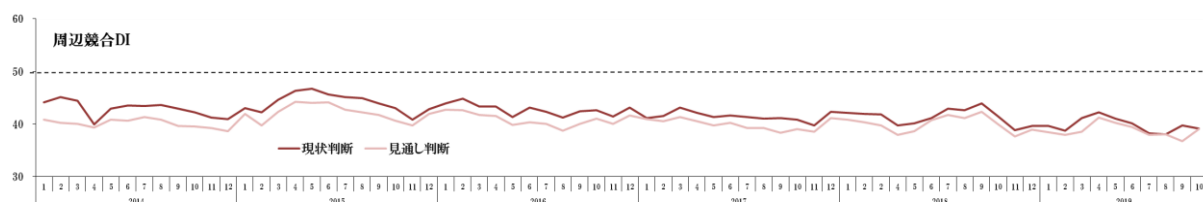
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	3.5	30.4	49.7	14.6	1.8	45.2
<b>【現状】購買意欲 (当月)</b>	<b>4.4</b>	<b>39.2</b>	<b>51.9</b>	<b>3.8</b>	<b>0.6</b>	<b>39.2</b>
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	5.9	42.4	45.3	5.9	0.6	38.2
<b>【見通し】購買意欲 (当月)</b>	<b>2.5</b>	<b>43.4</b>	<b>52.8</b>	<b>1.3</b>	<b>0.0</b>	<b>38.2</b>



### 3. 中核店舗周辺競合状況 DI

見通し判断はやや改善

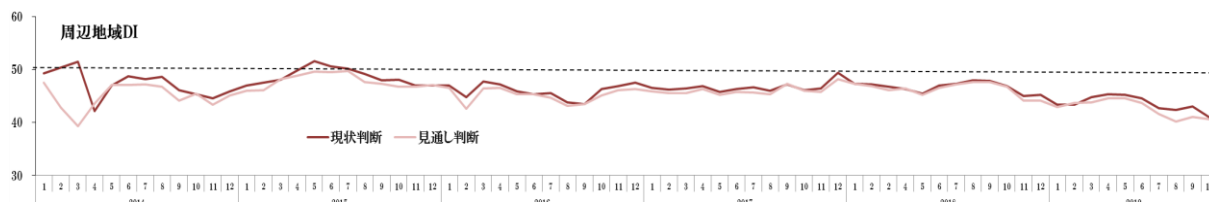
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	8.8	27.5	59.6	4.1	0.0	39.8
<b>【現状】競合状況 (当月)</b>	<b>8.8</b>	<b>28.3</b>	<b>60.4</b>	<b>2.5</b>	<b>0.0</b>	<b>39.2</b>
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	10.1	36.3	50.0	3.6	0.0	36.8
<b>【見通し】競合状況 (当月)</b>	<b>6.9</b>	<b>32.1</b>	<b>59.1</b>	<b>1.9</b>	<b>0.0</b>	<b>39.0</b>



#### 4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

現状判断は悪化、見通しは横ばい推移

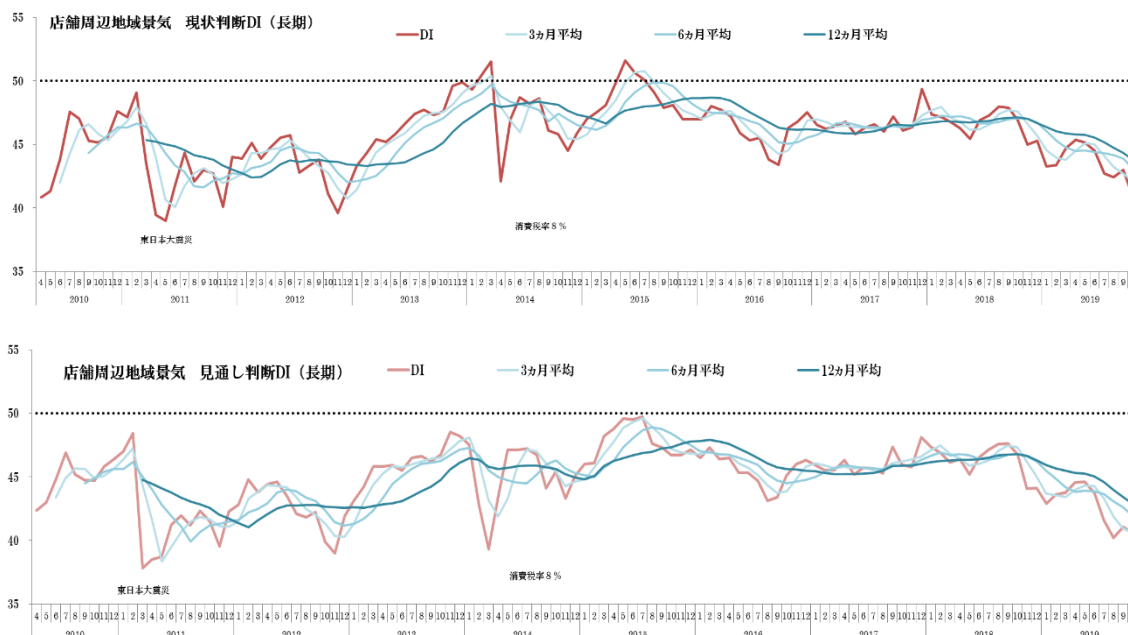
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気 (前月)	2.9	25.7	67.8	3.5	0.0	43.0
【現状】地域景気 (当月)	2.6	32.7	63.5	1.3	0.0	40.9
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気 (前月)	3.5	32.4	60.6	3.5	0.0	41.0
【見通し】地域景気 (当月)	1.3	35.9	62.2	0.6	0.0	40.5



#### ・中核店舗周辺地域景気判断DI 長期傾向 (2010年4月～)

周辺地域景気判断DIは、2011年3月の東日本大震災以降低迷を続けていたが、12年11月から16ヵ月にわたる改善が続き、14年3月には現状判断DIが51.5を記録した。14年4月の消費税率8%への引き上げにより、大幅に悪化したものの、その後徐々に持直しをみせ、2015年5月には現状判断DIは51.6にまで達し、調査開始以来の最高値を更新した。

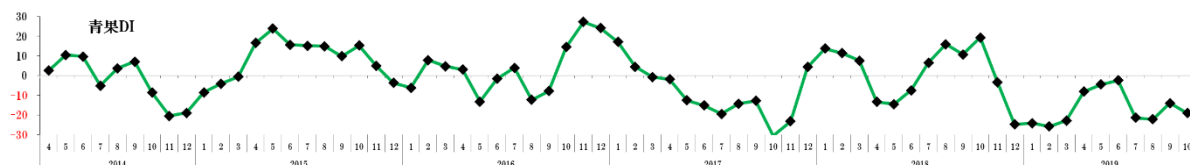
しかしこれをピークに、その後15ヵ月間にわたり悪化傾向が続き16年9月には、現状判断DIは43.4まで低迷した。以後方向感の乏しい推移が続いていたが、18年の後半から悪化傾向が顕著となり、徐々にその水準を切り下げており、19年10月には現状判断DIは40.9まで低下した。



### Ⅲ. カテゴリー別動向

#### 1. 青果DI：-19.2（不調）

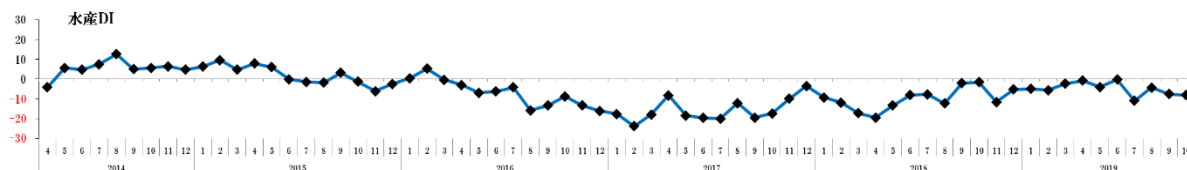
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果（前月）	18.4	38.7	26.4	14.1	2.5	-14.1
<b>青果（当月）</b>	<b>22.7</b>	<b>42.9</b>	<b>24.0</b>	<b>9.1</b>	<b>1.3</b>	<b>-19.2</b>



青果相場が安値で推移し単価が大きく下落した影響に加え、月を通じて気温が高く、葉物や根菜類、キノコ類などの鍋用野菜の動きが悪かった。また台風の影響でトマト類に入荷に影響が出た地域もあった。サラダ関連は好調で、特にカット野菜の動きがよかった。果物類ではシャインマスカットや梨は相場高のなか動きがよかったが、みかんは不調だった。輸入果物ではキウイフルーツは好調が一巡し動向にやや陰りがみられるとのコメントもみられた。

#### 2. 水産DI：-8.1（やや不調）

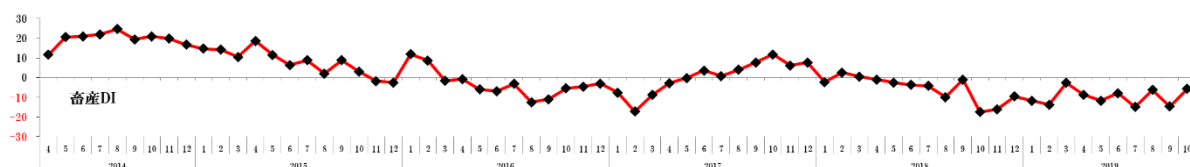
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産（前月）	13.5	29.4	35.6	16.6	4.9	-7.5
<b>水産（当月）</b>	<b>9.7</b>	<b>38.3</b>	<b>29.9</b>	<b>18.8</b>	<b>3.2</b>	<b>-8.1</b>



前年やや漁獲量が回復したサンマだったが、今年は記録的な不漁となり高値で大きな落ち込みとなった。スルメイカの不漁による影響も受けた。また高い気温により鍋物用食材（牡蠣やタラなど）は動きが悪かった。一方で秋鮭は入荷が安定しており好調となった。また刺身類や海藻類は好調に推移した店舗が多かった。

#### 3. 畜産DI：-5.7（やや不調）

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産（前月）	20.4	34.6	29.6	14.2	1.2	-14.7
<b>畜産（当月）</b>	<b>8.4</b>	<b>35.7</b>	<b>29.2</b>	<b>23.4</b>	<b>3.2</b>	<b>-5.7</b>

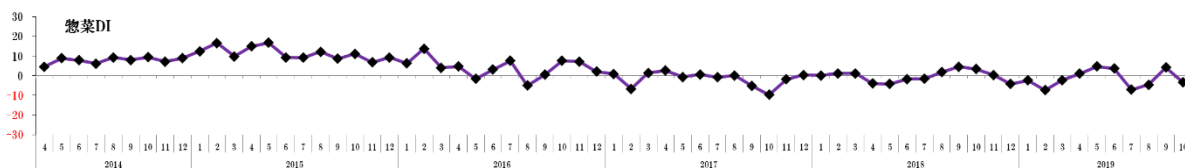


牛肉は相場高が続いており、平年より高い気温により、焼肉・ステーキ用の動きはよかったものの全体的に伸び悩んだ。一方で鍋物需要低迷の影響を受けたが、CSF（豚コレラ）の影響で単価が上昇しており前年並みとなった。鶏肉はから揚げ用を中心に好調となった店舗が多い。台風接近による備蓄需要の追い風を受け加工肉が好調となった店舗もみられた。



#### 4. 惣菜DI：-3.5（やや不調）

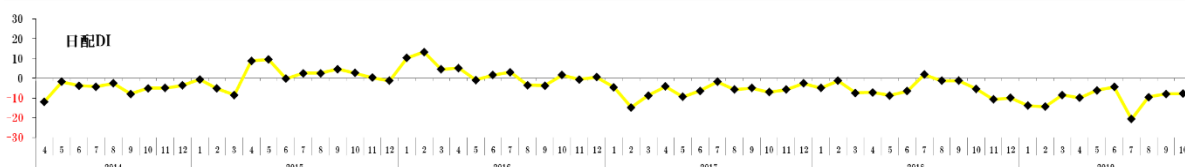
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	7.5	18.0	34.2	31.1	9.3	4.2
<b>惣菜（当月）</b>	<b>9.9</b>	<b>25.0</b>	<b>39.5</b>	<b>20.4</b>	<b>5.3</b>	<b>-3.5</b>



好天に恵まれた地域では行楽需要が高まり、米飯類、唐揚げなどの動きがよく好調となった店舗がみられた。一方で台風の影響を受けた地域では、買いだめ需要もみられたものの、イベントの中止などで大きな打撃を受けた店舗もあり、好不調わかれる状況となっている。全般的に気温が高く推移したことから、サラダ類や寿司類の動きがよかった。

#### 5. 日配DI：-7.8（やや不調）

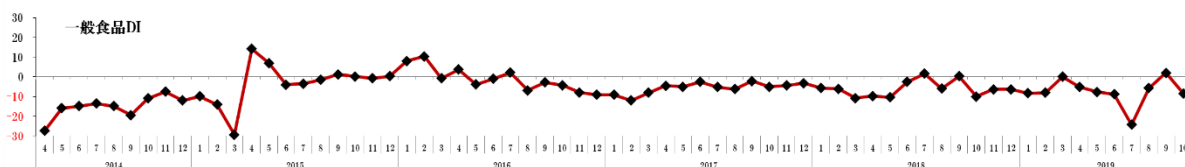
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	13.0	30.2	36.4	16.7	3.7	-8.0
<b>日配（当月）</b>	<b>11.1</b>	<b>32.7</b>	<b>36.6</b>	<b>15.7</b>	<b>3.9</b>	<b>-7.8</b>



気温が高めで推移したため、和日配では鍋物やおでん商材、また麺類などのホット商材の動きが悪かった。一方でアイスや牛乳、ヨーグルトは好調となった店舗が多かった。台風の影響により、パン類や冷凍食品に特需がみられた地域があった。

#### 6. 一般食品：-8.4（やや不調）

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	7.4	24.7	30.9	26.5	10.5	2.0
<b>一般食品（当月）</b>	<b>9.7</b>	<b>36.1</b>	<b>35.5</b>	<b>15.5</b>	<b>3.2</b>	<b>-8.4</b>

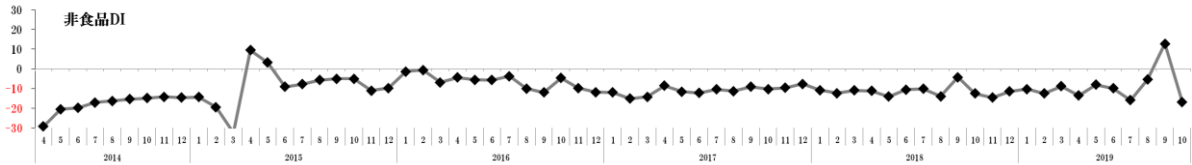


気温が高めに推移した影響で鍋用調味料や麺類やシチューなどホット商材は不振となった。台風の影響があった地域では、飲料やインスタント食品、缶詰などに特需が発生した。アルコール類は増税前の買いだめ需要の反動により不振となった。新米は伸び悩んだ店舗が多かった。



## 7. 非食品DI：-16.8（不調）

回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	7.1	14.1	25.6	26.9	26.3	12.8
非食品（当月）	<b>28.9</b>	<b>27.0</b>	<b>29.6</b>	<b>11.2</b>	<b>3.3</b>	<b>-16.8</b>



駆け込み需要の反動により不調となった。一方で台風の影響を受けた地域では、乾電池、ゴミ袋、カセットコンロなどに特需が発生した。前年値上げ後の反動減があったたばこは好調となった。他業態とのポイント競争の厳しさを指摘するコメントもみられた。

### カテゴリー別DIによる好不調判断

かなり好調：～20      好調：20～10      やや好調：10～0  
 やや不調：0～-10      不調：-10～-20      かなり不調：-20～

### 2019年11月調査（10月実績）キーワードTOP3

1. 台風の影響
2. 気温が高い
3. 増税の影響

### （参考）2018年11月調査（10月実績）キーワードTOP3

1. 日曜日が一日少ない
2. 好天・気温が高い
3. 青果相場高（前年比）

### スーパーマーケット景気動向調査 集計数

10月実績速報版      159社  
 9月実績確報版      171社

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 [tokei@super.or.jp](mailto:tokei@super.or.jp)